

**元五輪選手3人がゲストランナー
第18回つべつ紅葉マラソン大会開催**

10月6日、「第18回つべつ紅葉マラソン大会」が、好天の下で開催されました。幼児から年配の方まで、津別高校強歩大会の参加者を含む346人のランナーが、ハーフ、10km、5km、3kmのコースにエントリーし、各スタート地点から津別小学校グラウンドのゴールを目指しました。津別町開町100年記念事業の今大会には、ゲストランナーとして久保倉里美さん(400mハードル)、伊藤みきさん(スキーモーグル)、鈴木靖さん(スピードスケート)の3人の元オリンピック代表アスリートが参加し、大会を盛り上げました。



▶5kmコーススタート前に挨拶する(左から)伊藤さん、久保倉さん、鈴木さん
▶10kmコースゴール前で力走する参加者

**津別の物産と楽しいイベントが集
2019つべつ産業まつりが開かれる**

10月20日、「2019つべつ産業まつり」(主催 同実行委員会)がさんさん館前広場及び周辺で開催され、今年も町内外から多くの人が訪れました。好天にも恵まれ、津別町山鳴太鼓保存会、音楽愛好サークル・きずなカトルフイユ、津別中学校吹奏楽部の演奏や、バルーンアートの楽しいステージが会場を盛り上げました。飲食物の屋台、恒例の玉葱・馬鈴薯詰め放題、網走産海産物の即売、クマヤキ販売には行列ができる盛況ぶりでした。また、豪華景品が当たるお楽しみ抽選会や餅まきなどのお得なイベントもあり、来場者は秋の一日を満喫しました。



▶多くの来場者でにぎわった産業まつり会場



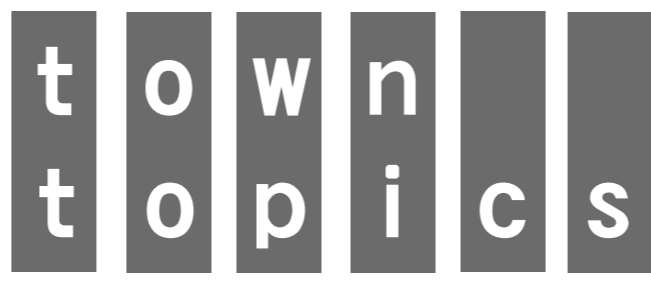
▶恒例の玉葱馬鈴薯詰め放題には行列ができました

**けんだまパフォーマンスやブースが人気
じどうかんフェスタ2019を開催**

9月28日、「じどうかんフェスタ2019」が、開町100年記念事業の一環として児童館つべつで開催されました。児童館のおまつりとして、小学生を対象に毎年行われており、今年で12回目となります。一輪車、竹馬などのこどもステージで幕開けたフェスタは、小島優希さんらのグループによるけんだまパフォーマンスショーで盛り上がりました。館内をいっぱいに使ったブースでは、木の工作や射的、おぼけやしき、みんなの夢を書いて記念樹に貼る100年記念樹などの催しや軽食販売などが行われ、会場には子どもたちの歓声が響いていました。



▶けんだまパフォーマンスの様子



まちのわだい

**異文化に触れて見聞を広める
津別高校生ニュージランド研修の出発式**

10月9日、令和元年度津別町青少年海外研修派遣事業の出発式が、町長室で行われました。津別高校の生徒を対象に毎年実施している事業で、今年も5人の生徒がニュージランドに13日間(うちホームステイ7泊)滞在します。派遣されるのは、いずれも2年生の石川魁くん、迫田暖乃さん、藤岡春人くん、青島大晟くん、高塚優也くんです。佐藤町長から「楽しみながら、いろんなことを吸収してほしい」と激励を受けたあと、生徒一人ひとりが「酪農について勉強したい」「小児科、産婦人科などの医療制度について知りたい」「積極的にコミュニケーションをとる、友だちを作りたい」などを語り、各自が決めた研修テーマや抱負を述べました。



▲抱負を述べる生徒

**相生鉄道公園列車再塗装プロジェクト
寄附者様限定イベント「仕上げの一塗り」を実施**

9月22日、相生鉄道公園列車再塗装プロジェクトの寄附者様限定イベント「仕上げの一塗り」が、同公園で行われました。ふるさと納税型クラウドファンディングで列車の再塗装費用を募り、寄附者自らが車両の一部を塗装する催しです。秋晴れの中、遠くは東京から駆けつけた参加者を含む8人の寄附者と関係者らが、貨車トラ74509の内装塗装をし、往年の姿が甦りました。



▲きれいになった貨車の前で記念撮影

**津別の石川さんが茨城国体に
バスケの道代表に選ばれる**

北見信用金庫津別支店に勤める石川瑞季さんが、第74回国民体育大会(9月28日〜10月8日/茨城県)のバスケットボール成年女子北海道代表選手に選ばれ、9月27日、武永大輔同支店長とともに宮管教育長に選抜の報告をしました。津別町出身の石川さんは、札幌山の手高校時代に全国三冠を果たすなど、トップレベルのバスケット選手として活躍。大学を経て社会人となった今も、B IHOROKラブで毎週練習に参加しています。教育長の激励に、石川さんは「普段一緒にプレーできない選手たちと試合に出るのが楽しみです」と話し、健闘を約束しました。



▶左から宮管教育長、石川さん、武永支店長

**連携と協力による地域づくり
北見地域定住自立圏形成協定を締結**

10月18日、1市4町(北見市、津別町、美幌町、訓子府町、置戸町)による北見地域定住自立圏形成協定の締結式が、北見市で行われました。この取り組みは、人口減少や少子高齢化が続く中で、地方から大都市への人口流出を食い止める、圏域の市町が連携・協力し、互いに役割分担しながら、生活機能の確保や地域住民の利便性向上など、圏域全体の活性化を図ることを目的としています。



▲締結された協定書を手にする、佐藤町長(左から2人目)ら1市4町の首長

心配ごと相談のお知らせ
心配ごと相談は、社会福祉協議会で随時受付し、相談員との日程を調整します。気軽にお問い合わせください。
津別町社会福祉協議会 ☎76-1161

マイナンバーカードはお持ちですか?
マイナンバーカードは身分証明書として使えるほか、e-Taxや一部民間企業のオンライン契約でも利用することができます。詳しくは下記担当へお問い合わせください。
問い合わせ先
・マイナンバー総合フリーダイヤル ☎0120-95-0178
・津別町役場 戸籍年金係 ☎76-2151 (内線223)